

新しい輪島市立図書館整備 に関する市民アンケート 結果報告

輪島市立図書館

■目的

新しい輪島市立図書館の整備方針を検討するため、新図書館のサービス・設備等について市民のニーズを把握する。

■調査期間

2023年3月30日～4月20日（22日間）

■対象者

輪島市に在住、通学、通勤する人など

■回答形式

Googleフォーム入力またはアンケート用紙使用

■周知方法

①広報わじま2023年4月号に依頼記事掲載。

②市内図書館3館、市役所、門前総合支所、全公民館へアンケート用紙、回収箱設置。

③市内小中学校分は、市校長会の同意を得て、小学4年生から中学3年生までの児童生徒を対象に、各校から貸与端末（ChromeBook）を使用してフォーム入力を依頼。
小中学生の保護者全員に対して、一斉メールを通じてフォーム入力を依頼。

④市内高等学校等は、各校から生徒向け一斉メールを通じてフォーム入力を依頼。

⑤新聞折込広告に掲載（4/7発行 越後屋5004便）

⑥輪島市公式LINEを通じたフォーム入力依頼
（4/7、4/12、4/17の3回配信 友だち登録約3,800件）

■設問の内容

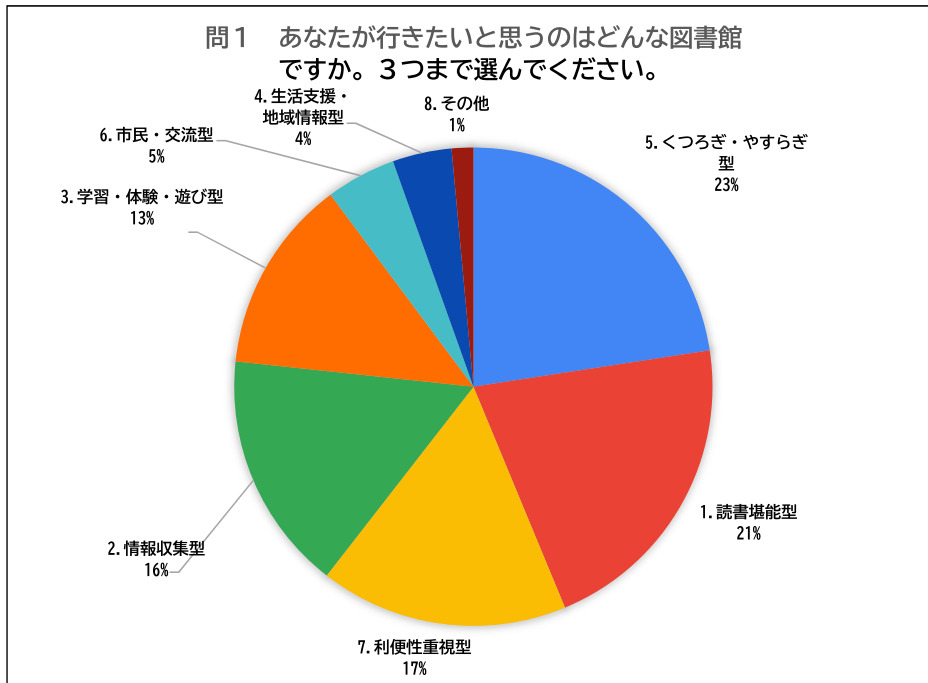
別紙1 アンケート用紙をご参照ください。

■回答数

2,133件 ※R5.4.1現在本市人口（23,575人）の約1割

（うち小学4年生～中学3年生 628件 ※対象者数の約8割）

■アンケート集計状況



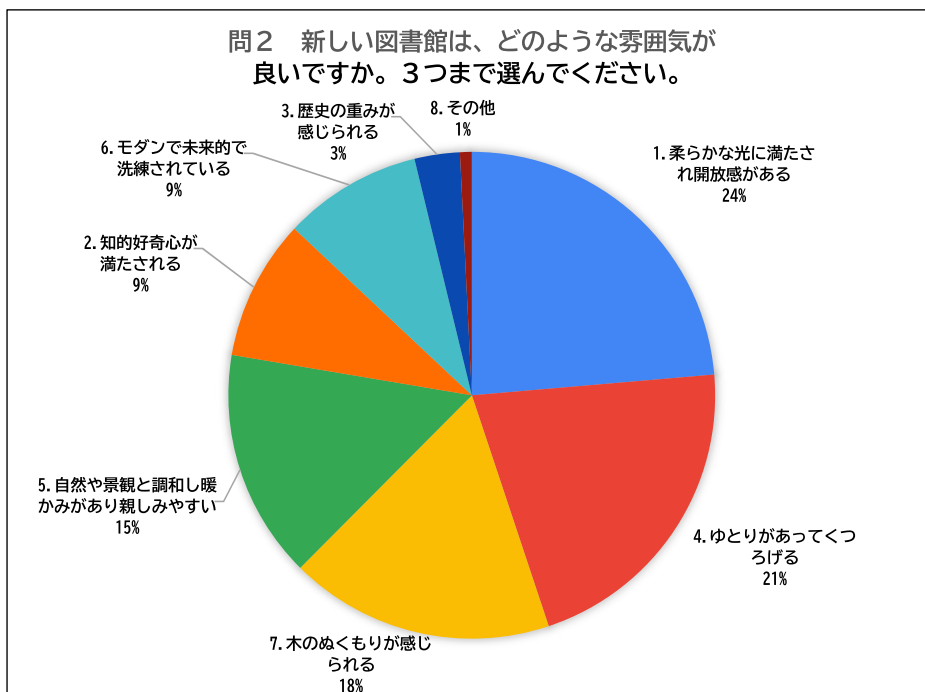
問1の回答では「くつろぎ・やすらぎ型」が最も多かった。図書館の機能そのものである「読書堪能型」「情報収集型」で約4割を占め、くつろぎながら読書や情報収集して過ごしたいと思う人が多いのではないかと考えられる。

また、利便性を求める傾向も高く出ている。

●その他の主なコメント●

- ・ 入りやすい入口と、広めの読書スペースのある図書館
- ・ 勉強をしやすい環境のある図書館
- ・ 障害のある人でも行きやすい図書館
- ・ 車が止めやすい駐車場がある図書館
- ・ いろいろな本が読めて、静かな図書館
- ・ カフェ併設

■アンケート集計状況

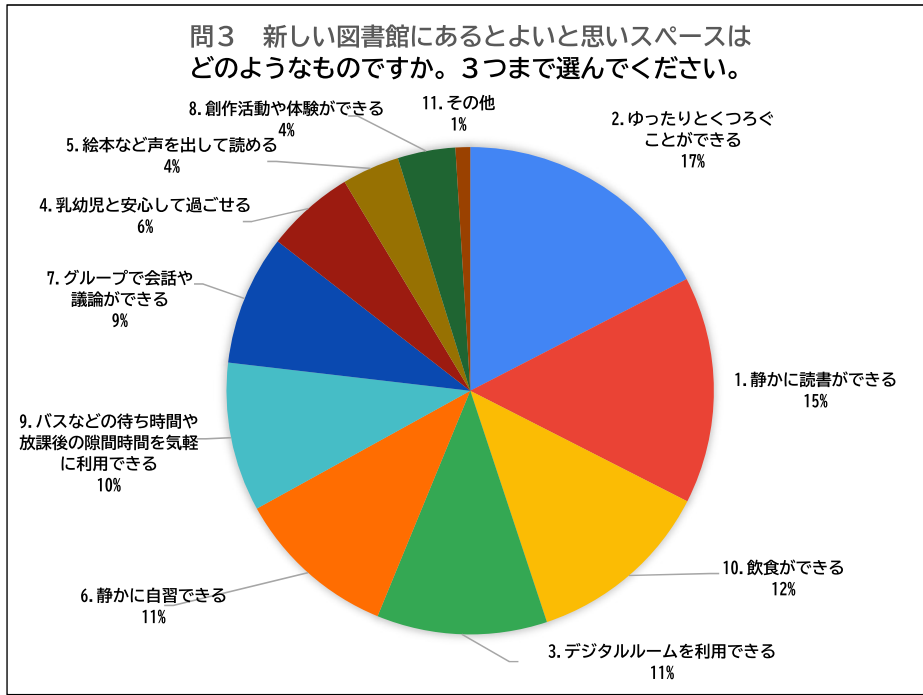


問2の回答では「柔らかな光に満たされ開放感がある」が最も多かった。木材を使うなど自然との調和を図り、個人のスペースを確保し、落ち着きのある明るさの中で読書や学習にゆったり過ごせる雰囲気が求められているのではないかと考えられる。

●その他の主なコメント●

- ・ 静かで勉強・調べ物等をするのに集中できる
- ・ 今の図書館の窓際の本（時代小説の棚等）がかなり日に焼けてる気がするので日当たり良すぎるのは良くないかも知れません
- ・ 子供連れでも行きやすい

■アンケート集計状況



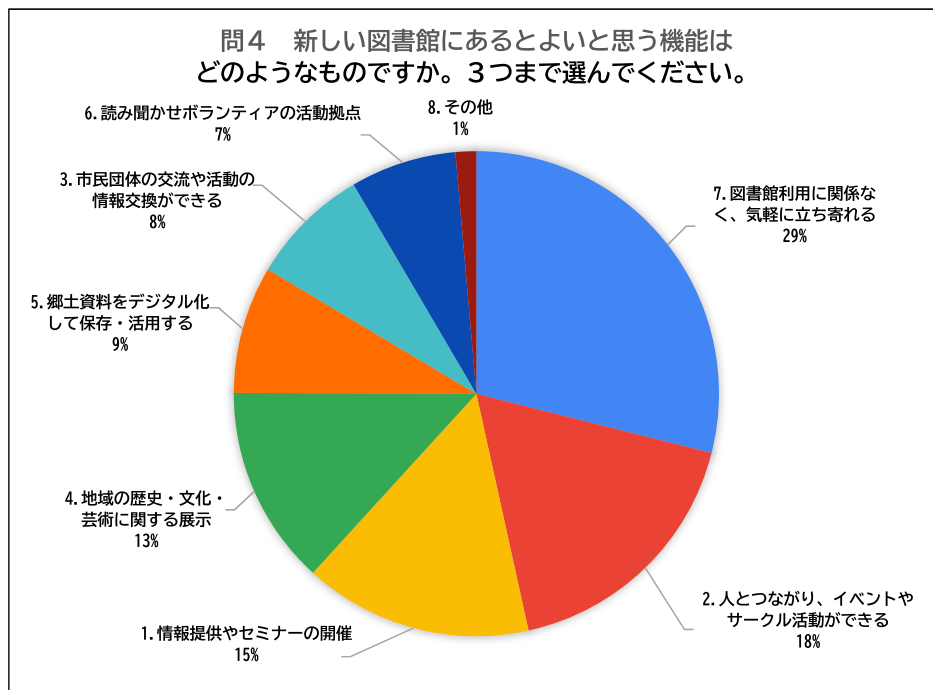
●その他の主なコメント●

- ・ファミリースペース等パーソナルスペース
- ・バス停が近いのなら、ちょっと寄り道ぐらいに気軽に立ち寄れるような所に。
- ・集中して学習したい学生と子供と絵本を楽しみたい親子が両方空間を分けて利用出来るようにして欲しい。図書館は市民の居場所になるため、図書館が充実していると移住者も増えるきっかけになると思います。

問3の回答では「ゆったりとくつろぐことができる」スペースが最も多かった。バスターミナルに近い立地を踏まえ、バスなどの待ち時間に気軽に利用でき、過ごしやすい場所になるようにする必要性が考えられる。

また、静かに読書や学習したい人が4分の1、子どもが声を出して過ごしても気兼ねしない場所を求める回答が1割にのぼる。他の設問でも重複してくるが、飲食スペースの希望が複数ある。

■アンケート集計状況



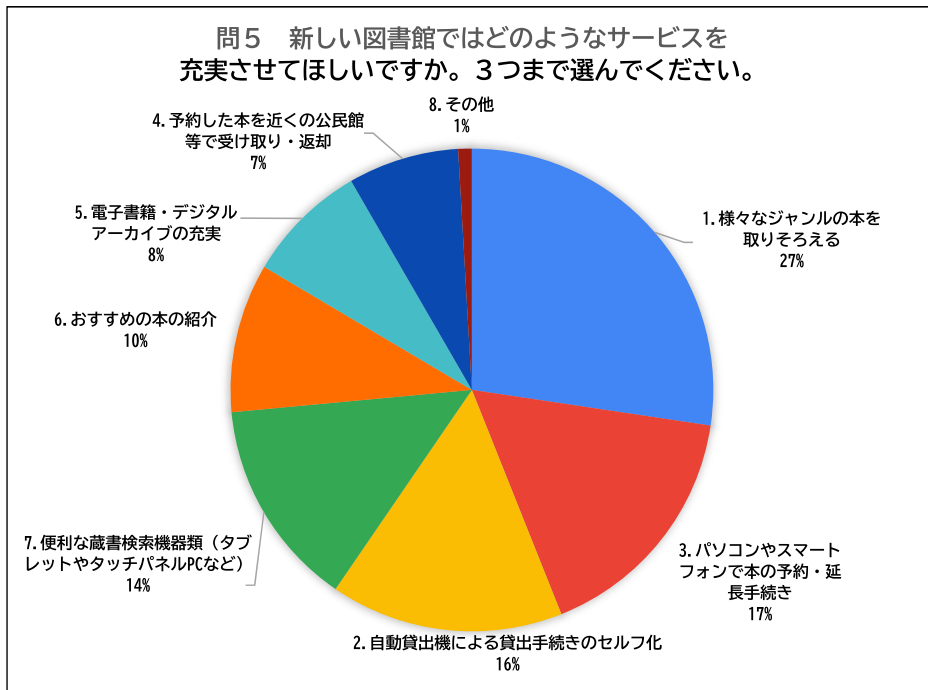
●その他の主なコメント●

- ・防災用地下シェルターが必要と思われます
- ・雪や暴風雨に影響されない施設
- ・実験や工作など体験できる
- ・展望室
- ・天文台
- ・防音
- ・Wi-Fi環境

問4の回答では「図書館利用に関係なく、気軽に立ち寄れる」が全体の約3割を占めた。読書のみならず、イベント、サークル活動、セミナーなど、建物全体が様々な交流拠点として機能する必要性が考えられる。

また、防災機能を求めるコメントも数件見られた。

■アンケート集計状況



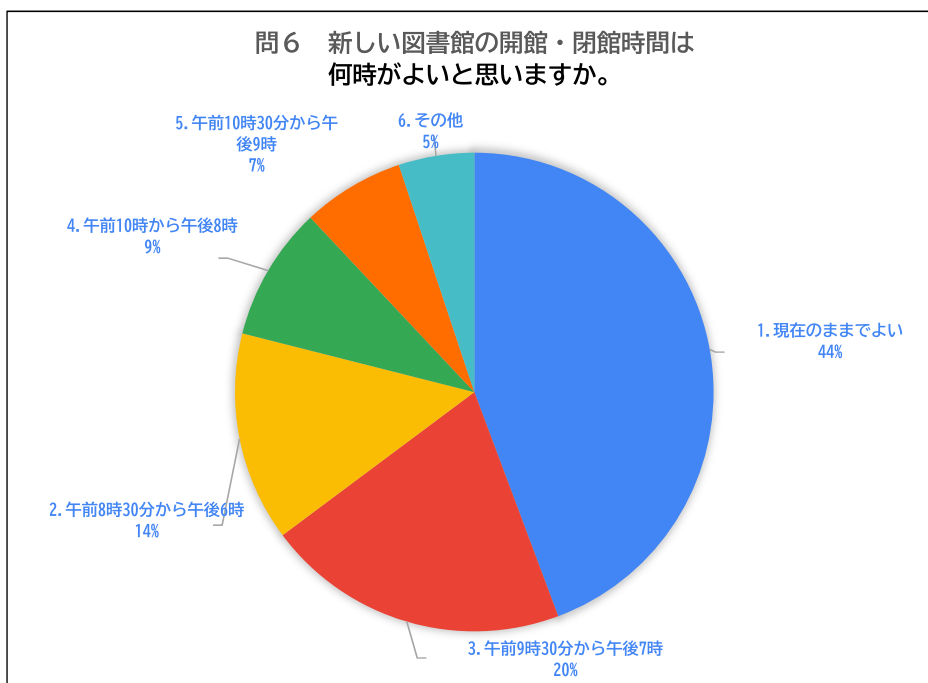
問5の回答では「様々なジャンルの本を取りそろえる」が最も多かった。その他のコメントでも図書のジャンルを挙げて蔵書の希望が多く見られた。

また、利用者自身による自動貸出機による手続きやWeb上での貸出延長手続き、館内の蔵書検索機器類の充実についても多く回答が寄せられた。

●その他の主なコメント●

- ・貸出に応じたポイントの付与
- ・放送大学の講座受講
- ・ビジネス活動の支援
- ・雑誌の種類を増やす
- ・レコードなどの音楽資料の増設
- ・本のリクエスト

■アンケート集計状況



問6の回答では「現在のままでよい」が最も多かった。その他のコメントでは、土日祝日も平日同様の開館時間を求める声や、夏は開館時間を長く、冬は閉館を早めるといった季節による柔軟な対応を求める声が多くあった。

●その他の主なコメント●

- ・24時間いつでも開館
- ・季節によって開館時間を変更
- ・土日祝日も午後6時まで開館してほしい
- ・午前9時開館

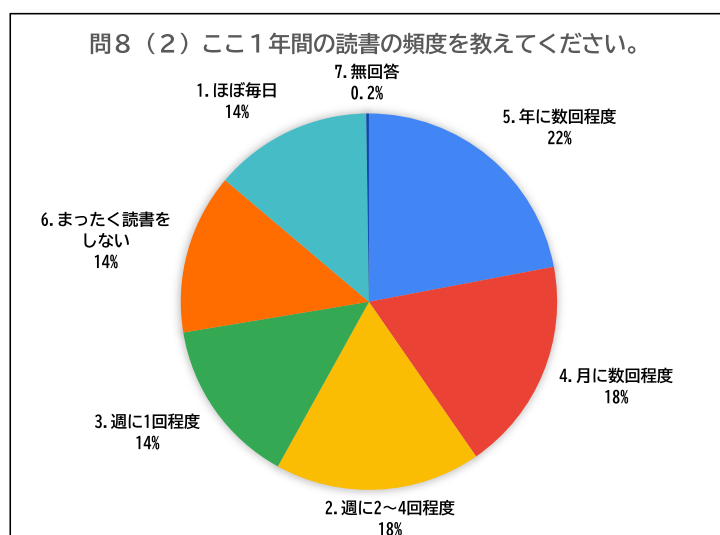
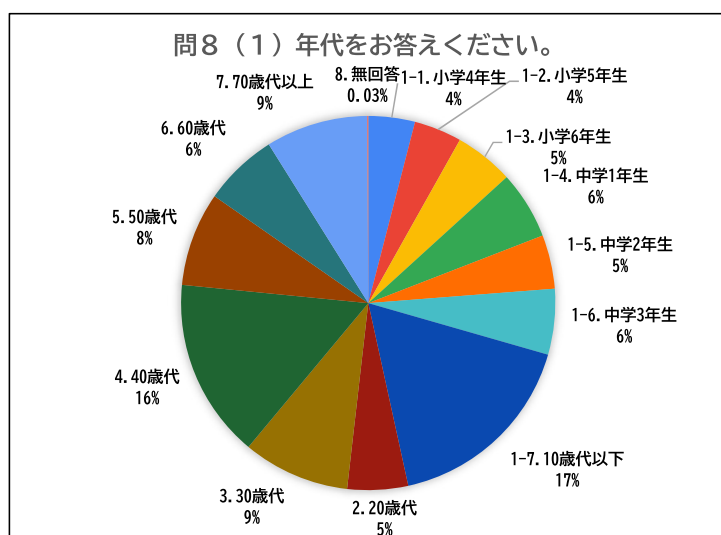
■問7 自由意見の主な内容

- ・ 設備に関すること
- ・ 館内環境に関すること
- ・ 利用者サービスに関すること
- ・ 図書に関すること
- ・ 図書館以外の機能に関すること

…など

※コメントについては別紙2をご参照ください。

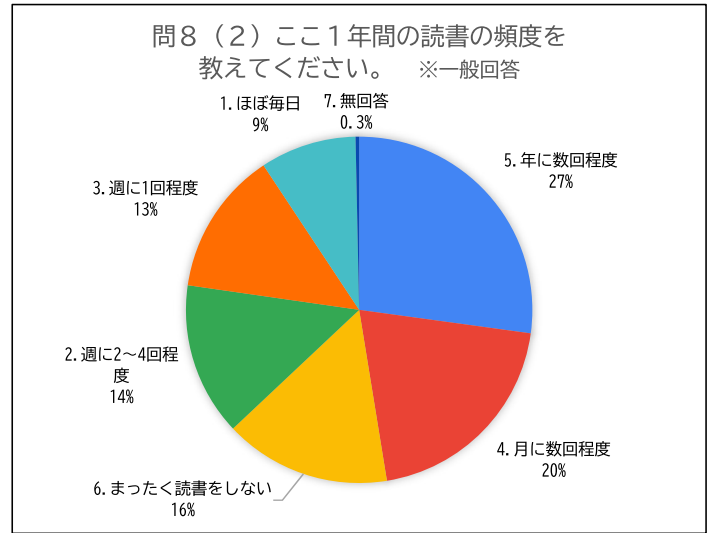
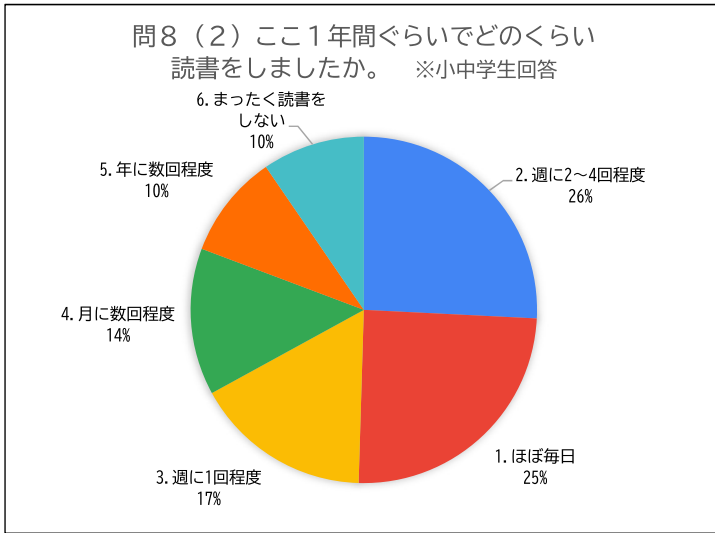
■アンケート集計状況



問8からは回答者自身のことを尋ねている。小中高校に対して直接協力を働きかけた分、必然的に10歳代以下で全体の半数近くを占めるが、20歳代以上はおおむね同じような割合で回答を得ている。

回答者の5割近くは月に1回以上読書をする機会がある。「まったく読書をしない」と答えたうちの半数は10歳代以下である。読書の頻度については次のページで小中学生、一般回答の別に示す。

■アンケート集計状況

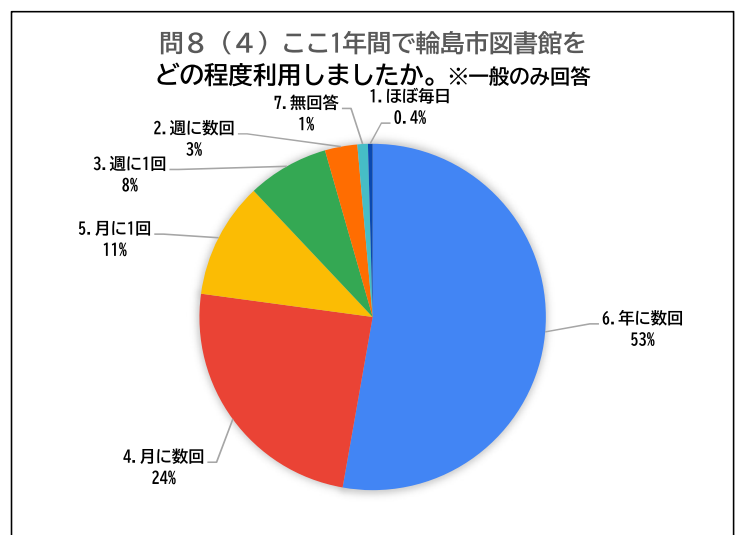
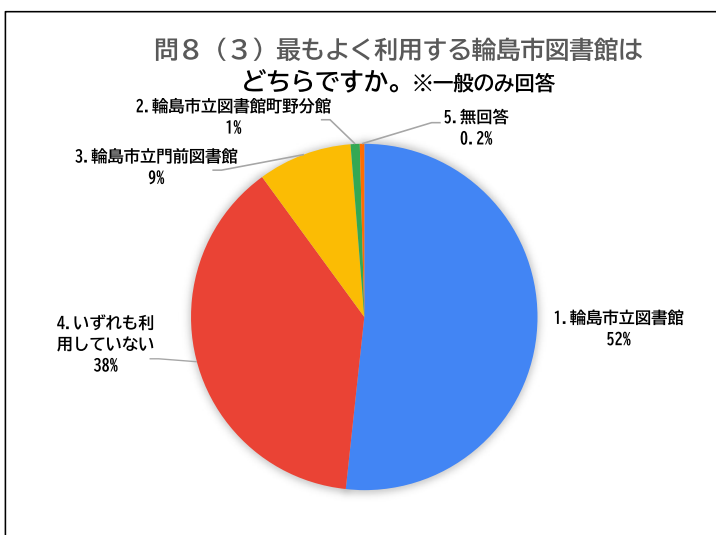


問8(2)を小中学生回答、一般回答の別に示すと上のグラフのようになる。

一般回答では、月に1回以上読書をする人が6割近くにのぼる。「まったく読書をしていない」と答えたうち、10歳代以下が35%、次いで40歳代が21%を占める。

小中学生は学校の授業などでの読書時間を除き、自分の意思で読書をしたのがどのくらいかを尋ねた。8割は月に1回以上読書をしており、4分の1はほぼ毎日読書をしていると回答している。

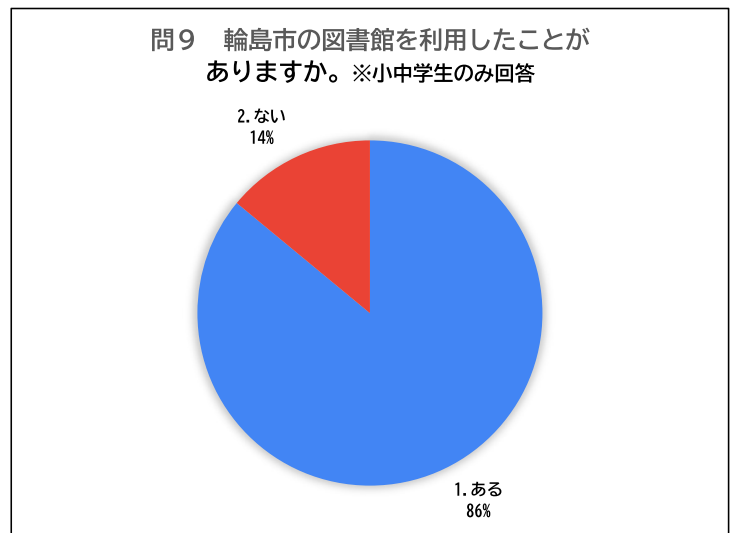
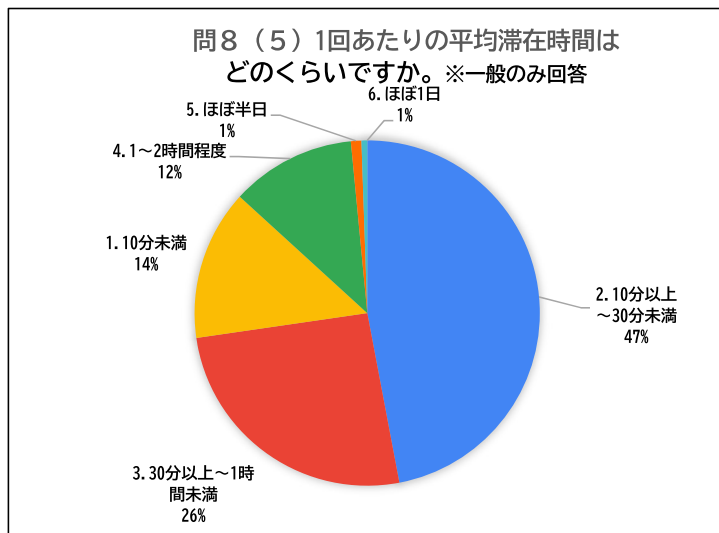
■アンケート集計状況



問8(3)では回答者の半数が輪島市立図書館を主な利用図書館に挙げている。回答者の4割近くは図書館利用がない状況である。

図書館利用ありと答えた人の半数は年に数回程度の利用にとどまり、次いで月に数回程度利用とされている。

■アンケート集計状況



問8 (5) は輪島市図書館を利用したときの平均滞在時間の設問である。回答者の6割は30分未満の滞在と答えている。

小中学生は普段学校図書室を利用する機会があり、学校図書室にない本、また、人気がありなかなか借りられない本を求めて公立図書館を利用するケース、中高生は試験シーズンなどに学習のため利用するケースが見られる。図書館から遠い地区の児童生徒は保護者の送迎に頼る必要があり、利用頻度は低めではないかと考えられる。

■まとめ

短期間でのアンケート依頼であったが、回答方法や周知方法を工夫し、幅広い世代から多くの回答を集めることができた。

新図書館に期待する声は非常に多く、関心の高さを実感する結果となった。

アンケートを通して、新図書館に対して読書以外の目的でも立ち寄りやすい施設となることと、利用者サービスの充実を図るとともに、従来から持つ公立図書館の役割に沿った資料収集・整理・情報提供機能の向上を目指す必要性を感じている。

近年整備されている各地の図書館の状況も参考にしながら、アンケートで寄せられた多くの声を今後の整備に活かせるよう努めてまいりたい。